

## ポーランドがアジア圏で新キャンペーン

### 関心を高めることが最大の目標

**ポ**ーランド政府観光局は、日本、中国、インドのアジア3カ国を対象に新キャンペーン『ポーランドの旅、とっておきのマイストーリーを見つけよう』を展開する。同キャンペーンでは、日本国内でのトレインジャックなどの広告展開、業界関係者向けのセミナーやファムツアーを展開するだけでなく、ポーランド国内でのサプライヤー向けに、日本人観光客の受け入れ態勢をさらに強化するためのセミナーやワークショップ等も実施する。このほど来日したポーランドのグジェゴシュ・カルピンスキ・スポーツ・観光省副大臣（写真左）は、「日本人観光客は増加傾向にある。キャンペーンを通してポーランドへの関心のさらなる加速を促したい」と語った。



ポーランドへの観光客誘致キャンペーンが本格的に始動

## 南アフリカ、7つのテーマでアピール

### 若年層から熟年層まで幅広いニーズに対応

**南**アフリカ観光局は、日本市場に対してカルチャー、アドベンチャー、優雅などを含む7つのテーマでのPRに力を入れている。来日したブラッドリー・ブラウワー南アフリカ観光局アジア・パシフィック・リージョナルマネージャーは、「南アフリカは日本人観光客が求める洗練されたサービスが提供できる。熟年層はもちろんのこと、サーフィンやアドベンチャー体験など若い人たちにも楽しめる素材は沢山ある」と幅広いニーズに対応するDestinyationであることを強調した。また「南アフリカと日本の経済交流は一層強まっていく。2020年東京オリンピックの開催までには、ぜひ直行便を実現できるように働きかけをしていきたい」と意気込みを語った。



「直行便を実現できるようにしたい」と話すブラッドリーマネージャー

## プリンセス・クルーズがツーリズム大賞

### 日本発着クルーズをさらに強化

**プ**リンセス・クルーズは、このほどJATAツーリズム大賞2013「運輸部門優秀賞」を受賞した。来日した同社のアランB.バクルー社長兼CEOは、「2014年にさらに規模を拡大して日本発着クルーズを提供するにあたり、日本の消費者の皆様へ、新しい旅の形としてクルーズに興味を持っていただけるよう、力を注いでいきたい」と語った。カーニバル・ジャパンの木島榮子代表取締役からは、今年の日本発着クルーズの成果と2014年の注目点が説明された。乗船客を対象に実施されたアンケートでは、約8割の人が再度利用したいと回答し、乗務員によるもてなし、客室係のサービス、食事、ダイニングサービスについても高評価が得られたという。



「日本人旅行者にもっと興味を持ってほしい」とバクルー社長

## 日本プロモーションを強化、今年は50万人目標

### ナズリ観光文化大臣が来日

**マ**レーシアのダト・スリ・モハメッド・ナズリ・アブドゥル・アジズ観光文化大臣が来日し、旅行業界関係者に向けて、マレーシアの観光振興の取り組みについて情報発信した。マレーシアを訪問した日本人旅行者は2012年は前年比21.5%増の47万人。今年上期も引き続き20%増の順調な伸びを記録し、年間では50万人を目標としている。マレーシア政府観光局は、2020年までに世界中から3600万人の観光客誘致に取り組んでおり、日本市場でもプロモーションを強化、また今年3月に日本オフィスの開局40周年を迎え「マレーシア100万人プロジェクト」を推進している。9月から全国6都市で合計720台のタクシーを使った広告プロモーションを展開する。



2014年には観光年を実施するマレーシアのナズリ観光文化大臣

## 米ミシシッピ川流域への旅行者数拡大を

### ミシシッピ・リバー・カントリーUSAが初セミナー

**米**国ミシシッピ川流域10州（ミネソタ、ウィスコンシン、アイオワ、イリノイ、ミズーリ、ケンタッキー、テネシー、アーカンソー、ミシシッピ、ルイジアナ）の観光促進団体であるミシシッピ・リバー・カントリーUSA（MRC）は9月18日、米国商務省・米国大使館商務部の協力のもと、旅行業界関係者を対象としたセミナーを開催した。MRCは日本での旅行誘致活動を長年展開してきたが、今回のセミナー開催は米国商務省から日本人旅行者の誘致促進のための活動資金サポートを受けて初めて実現した。MRC日本事務所では今後、米国商務省からの3年間の資金サポートを受け、誘致活動を強化し、同流域10州への日本人旅行者増加を図る。



10州への観光促進を図るMRC日本事務所のマジョリー・デューイ代表

## ハーツレンタカーがセドナセミナー2014

### 商材としてのレンタカーとセドナの魅力を紹介

**ハ**ーツレンタカーとセドナ観光局は、旅行会社を対象に、このほど東京・大阪の2都市でセドナ・フライ&ドライブセミナーを実施した。第1部ではハーツレンタカーの広脇敬日本地区支配人が、レンタカーでの旅行の魅力と、予約販売の実態を説明。日本のレンタカー会社や、現地営業所で直接手配する人も多く、旅行でのレンタカー利用率は想像しているより高く、商材のひとつとして積極的に販売してほしいと呼びかけた。第2部では、セドナ商工会議所観光局の佐渡祥子観光開発ディレクターがアリゾナ州セドナの魅力を紹介。グランドキャニオンやモニュメントバレーなどへも3~4時間のドライブで行くことができることなどをアピールした。



ハーツレンタカー広脇支配人（左）とセドナ観光局の佐渡ディレクター